

私学(中高一貫校)の誘致について



鈴木 央 議員

質問…全寮制を前提とした中高一貫校を念頭にお伺いします。県内でも私学の誘致に取り組んでいる市町も有ります。私学の誘致に対する本市のお考えをお伺いします。

答弁…中高一貫校は進学に関する選択の幅を広げ、生徒の個性や創造を伸ばす事を目的として平成11年度から選択的に導入された制度であり学力の定着や向

上を狙う学校の割合が高いとされております。こうした学校が市内に立地することにつきまして、は進学の選択肢が増えるほか、若者が増えることによる地域活性化等のメリットがあると思われれます。一方、誘致に関しては土地の提供や、金銭面の支援など大きな財政負担が生じる懸念が有ります。

もっている素晴らしい教育環境を前面に打ち出し、誘致を検討して頂きたい。  
答弁…情報化の飛躍的な発展の中、これからの二十一世紀、二十世紀の社会を望んだとき、どういふ学び方が必要か。大胆な発想、新たな発想を入れてこの私学の検討というのはある意味重要と考えます。

一般質問



中川 雅之 議員

交通安全対策について

質問…自治会や市民による交差点整備及び新たな信号機、時差式信号機の設置要望に対する市の取り組みについて伺います。

答弁…安全な交通環境の整備のため、本市では自治会等からの要望に基づきカーブミラーやガードレールなど交通安全施設を整備しているところであります。また、信号機などの交通規制については栃木県公安委員会が行

いますので、信号機等の設置要望を受けた際は、大田原警察署に要望を伝えております。過去3年間の要望件数と信号機の新規設置及び矢印等の改良の実績につきましては、平成28年度は要望箇所52件に対し設置件数は5件、平成29年度は要望箇所49件に対し設置件数は6件、平成30年度は要望箇所47件に対し新規設置が2件・信号機の改良が

8件の合計10件となっております。なお、栃木県内における信号機の新規設置につきましては、栃木県公安委員会に照会しましたところ、平成30年度は15基でありました。本市といたしましては、今後とも市民等からの要望を真摯に受け止め、引き続き交通安全に向けた環境の整備を行うため大田原警察署を介して要望活動を行ってまいります。